

第4回 TUFS 歴史・地域研究セミナー

Workshop for History and Area Studies



■ 報告者：小栗 宏太（本学博士後期課程）

■ タイトル

「グローバル都市の舞台裏： インドネシア人家事労働者の雇用にみる 中国返還後の香港社会」

■ コメント：吉田 ゆか子（本学 AA研）

■ 日時：12月4日（火）17:40～
（1時間程度を予定）

■ 場所：海外事情研究所会議室
（研究講義棟 427号室）
（※申込不要 学部生歓迎）

■ 主催：海外事情研究所

■ 共催：科研費基盤(B)
「口語版漢訳聖書の黎明期における文体」

現在の香港では15万人を越えるインドネシア人女性が住み込み家事労働者として働いており、この人口700万人の都市において、同じく家事労働者として働く者の多いフィリピン人女性と並んで最大の非華人グループとなっている。

異なる文化的、社会的、宗教的背景をもちながら一つ屋根の下で暮らす外国人家事労働者と香港人雇用主の関係からは、多様なグローバル都市としての姿が強調されがちな香港が抱える外国人・マイリティをめぐる問題が見えてくる。

本発表では特に(1)ムスリム家事労働者が抱える信仰実践をめぐる問題、(2)雇用者が恐れる家事労働者の「呪術」、の2点をとりあげ、家事労働者、雇用者双方の視点からこの問題を検討していく。